


耐震支持部材一体化ケーブルラック

写真・イメージ	概要（効果・特徴・メリット等）														
<p>【支持材付貫通枠】</p> 	概要	垂直ケーブルラックの耐震支持部を貫通枠と一体化することにより、EPSの省スペース化、施工性の向上を図る													
<p>【耐震ラック施工】</p> 	工程	<table border="1" data-bbox="947 352 1456 469"> <tr> <th>設計</th> <th>躯体施工</th> <th>内装施工</th> <th>外構施工</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	設計	躯体施工	内装施工	外構施工	○		○						
設計	躯体施工	内装施工	外構施工												
○		○													
<p>【支持部拡大】</p> 	効果	<ul style="list-style-type: none"> ■耐震架台施工不要・労務削減 ■EPS省スペース化（貫通枠のサイズで施工可能） ■開口養生簡略化（予め蓋を二分割で納入） <table border="1" data-bbox="947 794 1583 911"> <tr> <td>Q</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>S</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </table>				Q	C	D	S	E	△	◎	○	○	—
Q	C	D	S	E											
△	◎	○	○	—											
	備考 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルラックの支持部材が製造会社の製品ではないため、耐震計算はケーブルラックと貫通枠の両方で行う必要あり。 ・開口養生蓋は、施工開始位置や階高によって子桁と干渉する可能性があり、調整を要する。 ・ケーブルラックにセパレーターが設置される場合は、開口養生蓋を3分割にする等の対策が必要。 													
	適用範囲 仕様														
	用途	共同住宅等													